

経済振興委員会報告資料

福岡市博物館リニューアル基本計画（案）
の検討状況について

令和5年2月
経済観光文化局

博物館は、施設老朽化への抜本的対策の必要性の高まりと社会的なニーズの変化に対応するため、令和3年度よりリニューアル推進事業に取り組んでいる。令和4年度は、基本計画（案）の策定に取り組んでおり、現在の検討内容を報告するもの。

1. これからの博物館のビジョン（案）とリニューアルの目標

博物館は、対外交流の最前線として挑戦を続け多様な文化を育んできた福岡の歴史から「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざす現在と未来の姿を発信し、地域文化の担い手である市民、次世代を担う子どもたちや世界からの来訪者と共有・交流する機能を果たす。

- 目標1 交流と多様性が創る都市の過去－現在－未来にむかうストーリーを発信する**
- 目標2 すべての人の学び・楽しみを支え、人々の関わり合いを豊かにする**
- 目標3 資産・資源をより有効に活用し、博物館とエリアの魅力を高める**

2. 施設整備の要点

(1) 次世代の活用を重視した博物館の基本機能の向上

① 展示のリニューアル

- ・ アジアに開かれた2000年来の歴史から「福岡の今」を実感し、「福岡の未来」を展望できるような展示空間を創出する。
- ・ 省エネ型高機能の照明設備の導入や展示空間の再編成等により、文化財を鑑賞する環境の向上を図る。 等



現在の常設展示

② 子どもの学びに関する機能の充実

- ・ 就学前の子どもが安全に楽しく過ごせるキッズスペースを設ける。
- ・ 子どもの体験を通じた歴史への親しみや調べ学習に役立つ学びのスペース、校外学習での活用を重視したガイダンスや休憩救護に適した設備やスペースを拡充する。 等



③ 文化財を守る機能の強化

- ・ 文化財の保管、調査研究、劣化対策のための設備更新やスペースの拡充を行い、歴史文化を次世代へ継承する機能を強化する。



ロビーでのファッションショー開催（R04.10.31）

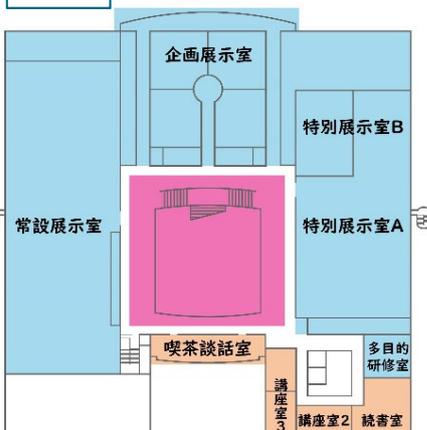
(2) 共用部分の交流機能拡充

- ・ 玄関やロビーの大空間を、国際会議のレセプションやイベント会場として活用しやすくする設備を拡充する。

1階



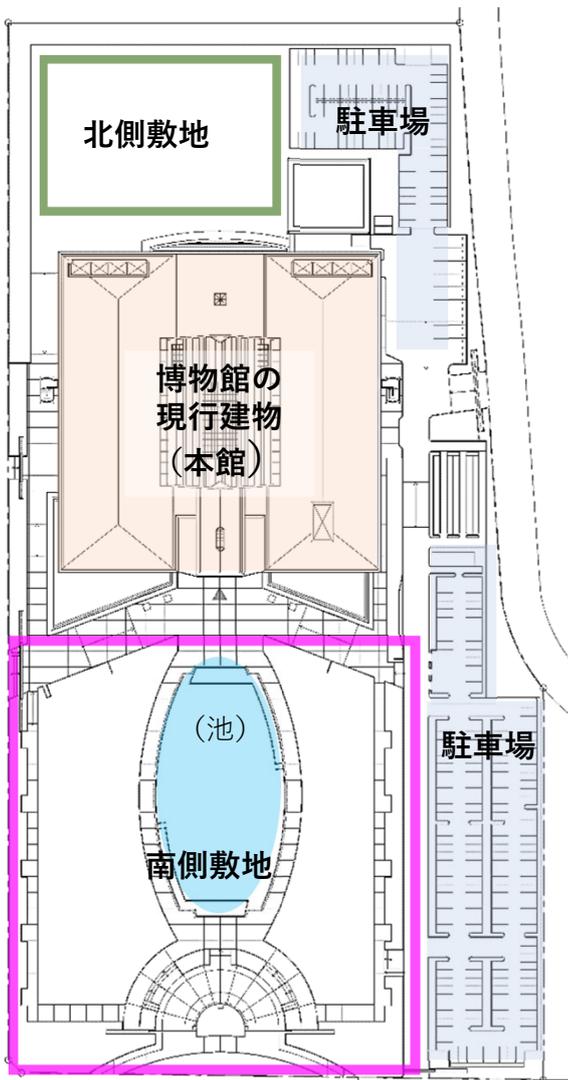
2階



※室等の呼称は現在のもの

- (1) -① 展示のリニューアルを検討
- (1) -② 子どもの学びに関する機能の充実を検討
- (1) -③ 文化財を守る機能の強化を検討
- (2) 共用部分の交流機能拡充を検討

(3) 敷地の活用



① 北側敷地の施設の増築

- 市民の財産である博物館資料や、さまざまな文化遺産を次世代へ継承する機能を強化するため、収蔵庫棟を増築する。
- 収蔵庫棟は本館（現行の建物）の改修に先行して工事を完了させ、本館工事中に収蔵資料を保管する。

② 南側敷地の改修

- 地域に開かれた花と緑のオアシス空間となる広場へ改修する。
- 敷地を取り囲む植栽帯の改修等により、「サザエさん通り」との一体感を向上させる。



敷地の南西角

- 敷地中央の池の改修による広場の拡張や物販・飲食等のサービス施設の設置等により、にぎわい空間を創出する。

③ 駐車場の改修

- 狭い車路や駐車区画の改善等の再整備を実施する。
- 大型バスの駐車や乗降スペース等を整備する。
- EVステーションの設置を検討する。

(4) 施設全体の整備要件

- バリアフリー、ユニバーサルデザインを推進する。
- 感染症対策、セキュリティ、防災・減災機能を強化する。
- 脱炭素化を推進する。

(5) 運営手法について

- 博物館の魅力向上や施設の効果的・効率的な運用を図るため、民間活力の導入を検討している。



ユニバーサル都市・福岡
UNIVERSAL FUKUOKA CITY



3. 事業スケジュール

R05年度

事業手法の検討結果等を含めた基本計画（案）を報告予定

★ 事業者の選定の準備（基本設計）

北側敷地に増築する収蔵庫棟の設計

R06年度以降

事業者選定

設計・工事

博物館の休館

リニューアルオープン

収蔵庫棟の工事

休館中の収蔵品を保管